

↓バッテリーカーに乗る参加者



**エネルギーとともに楽しもう
きいばすGWフェスタ2022**

5月3日から5日にかけて、きいばすGWフェスタ2022がきいばすで開催されました。

同イベントは、ゴールデンウィークに合わせ、きいばすが開催したもので、科学実験ショーやBMXのパフォーマンスショー、バッテリーカー、スライム作り等が行われました。

来場者は、体験プログラムやショーを通して、さまざまなエネルギーのおもしろさを体感していました。



↑段ボールの動物貯金箱作り



↑スライム作り体験



↑BMXのパフォーマンスショー



↑VR体験

↓久々子湖沿いのごみを拾う参加者



**美しい三方五湖を守るため
三方五湖一斉清掃**

4月24日に、三方五湖一斉清掃が行われました。この清掃活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が主催したもので、町内の団体や企業から約100人が参加しました。

参加者は、各々の持ち場に分かれ、久々子湖や日向湖の周辺を清掃し、プラスチックごみや空き缶等、約7㎡(軽トラック約9台分)を収集しました。

↓展示されている布絵



**古布には心が宿っている
渡辺弘子布絵ミュージアム**

5月10日に、渡辺弘子布絵ミュージアムが早瀬にオープンしました。

このミュージアムは、渡辺弘子さんの布絵を多くの人に広めようと、(一社)若狭美浜観光協会が開いたもので、作品37点が展示されています。

布絵は、渡辺さんが友人等から譲り受けた布を使用し、自身の記憶にある昭和の風景や祭事等を描いています。

↓漂着したごみを拾い集める参加者たち



**美しい砂浜を守るため
美しい浜プロジェクトin水晶浜**

4月17日に、美しい浜プロジェクトが水晶浜で開催されました。

このイベントは、町が取り組む美しい浜プロジェクトの令和4年度第1弾として開催され、竹波区民やボランティア、みはま応援クルー等、約250人が参加しました。

参加者たちは、全長400mの海岸を清掃し、漂着したプラスチック等、約65㎡(軽トラック約86台分)を収集しました。



↑清掃開始前



↑清掃終了後

↓けん玉ステージで盛り上がる来場者たち



**山奥で開かれる1日限りの市場
時の森マルシェ**

4月24日に、時の森マルシェがcafe MIROKU(新庄)で開催されました。

このイベントは、自然の中でさまざまな催しを楽しんでもらおうと、cafe MIROKUが近隣の飲食店等と連携し、開催したものです。

来場者は、ジビエ料理等に舌鼓を打ちながら、音楽やけん玉等のエンタメステージを楽しんでいました。

↓地元の食材を求め大勢の人で賑わう会場



**美浜の旬がここにある
ハートフル朝市**

4月17日に、地元でとれた新鮮な野菜や魚介類等を販売する美浜ハートフル朝市が水神公園広場(久々子)で開催されました。

今年で33周年を迎えるこの朝市は、地元農家や漁業者等で構成される朝市の会が主催しています。

会場には80人を超える人が訪れ、新鮮な野菜や魚介類、花鉢等の商品を買っていました。



**まちウォッチング
atching**

歯の健康を守りましょう

6月4日～10日は
「歯と口の健康週間」です！

◎歯と口を守ることは全身の健康を守ること

からだは、口から肛門まで1本の管でつながっています。そのため、食べ物の入り口であり、細菌やウイルスの入り口にもなる口の健康を守ることは、体全体の健康を保つためにとても重要です。

成人の8割がかかっているとされる歯周病は、誰もが注意する必要がある病気です。口臭やむし歯、歯の喪失といった口の病気だけではなく、心臓病や糖尿病、肺炎とも深く関わっており、全身の健康に悪影響を及ぼします。

この機会に歯と口の健康を見直し、むし歯や歯周病の予防に努めましょう。

◎正しいケアで歯を守りましょう

歯磨き等の自分で行うケア（セルフケア）	歯科医院で受けるケア（プロフェッショナルケア）
<ul style="list-style-type: none"> ●毎日きちんと歯磨きを行い、歯垢を除去する。 ●歯間ブラシやデンタルフロスを使って、歯垢を除去する。 ●歯ブラシをこまめに交換する。（1カ月を目安に交換） 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に歯科健診を受けて、歯科医院でケアを受ける。 ●歯科健診で異常があった場合には、早期治療を行う。 ●歯磨きの仕方について指導を受ける。

◎「よく噛む」ことの効用 ～卑弥呼の歯がいーぜ！～

よく噛むことは、全身を活性化するためにとても重要な働きをしています。その効用について、日本咀嚼学会の標語“卑弥呼の歯がいーぜ！”をご紹介します。

ひ 肥満予防

満腹感が得られ、食べ過ぎを予防。

み 味覚の発達

よく噛むと味がわかり、減塩に繋がる。

こ 言葉の発音

口まわりの筋肉が発達し、発音が良くなり、表情も豊かになる。

の 脳の発達

脳の働きを活性化させ、認知症予防に役立つ。

は 歯の病気を防ぐ

唾液の分泌で、虫歯や歯周病を予防。

が がん予防

唾液中の成分が、発がん物質の働きを抑制させる。

い 胃腸快調

消化がよくなる。

ぜ 全力投球

心身が健康になり、力いっぱい遊んだり仕事をしたりできる。



Instagramを開設しました！

健康福祉課では新たにInstagramを開設しました。皆さんの健康づくりの力になれるような情報を発信していきます。ぜひ、フォローの上、ご覧ください！



GENGEN_MIHAMA



あなたも子育てサポーターになりませんか？

町では、子育ての経験豊富なおじいちゃんやおばあちゃんの力を借りながら、地域での子育て支援の輪を広げ、子どもの笑顔があふれるまちを目指しています。

地域の子育てを通して社会に関わることは、地域貢献となるだけでなく、自分自身のやりがいや充実感をもたらすきっかけにもなります。

そこで、令和4年度も子育てを応援して下さるサポーターを養成することを目的として、次の日程で講座を開催します。皆様のご応募をお待ちしています。



↑クリスマス会での活動

【日程/テーマ】 ①7月6日(水)/子育て世代の現状と施設見学	【募集人数】 10名程度
②7月29日(金)/昔の子育て、今の子育て	【場所】 保健福祉センターはあとびあ
③8月18日(木)/世代間交流「夏祭り会」	【募集締切】 6月30日(木)
④9月8日(木)/子どもとの関わり方	【申し込み】 子ども・子育てサポートセンターに電話やFAX、メールでお申し込みください。
【時間】 午前10時～11時30分	FAX: 32-0195
【対象】 シニア世代の子育てを応援して下さる方	メール: kosodate@town.fukui-mihama.lg.jp

講座修了後は、子育てサポーターとして子育て支援の場(子ども・子育てサポートセンターの事業等)で、お手伝いをさせていただきます。

「自身の子育ての経験を活かしながら、空いた時間に地域のおじいさんのサポートをしたい」、「仕事をしながら、自分のできる範囲でサポートしたい」という気持ちを形にできる事業です。手助けを必要としているお父さんやお母さんの力となり、ぜひ美浜町の子どもたちの成長と一緒に見守ってください。

※お問い合わせ先 町子ども・子育てサポートセンター(担当・竹仲) ☎32-0192



成年後見に関する専門的な相談窓口を設置しました

認知症や障がい等の理由により、判断能力が十分でない人の権利擁護支援として、成年後見制度の紹介等、さまざまな相談対応等を行う専門の相談窓口を4月1日より地域包括支援センター内に設置しました。

◎成年後見制度とは？

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由で一人で決めることが心配な方は、財産管理(不動産や預貯金等の管理、相続手続等)や身上保護(介護・福祉サービスの利用契約や施設入所・入院の契約締結)等の法律行為を一人で行うことが難しい場合があります。

また、よく分からないまま契約を結んでしまい、悪質商法の被害に遭う恐れもあります。成年後見制度は、このような不安のある方々を法的に保護し、支援する制度です。

◎こんな不安はありませんか？

- ・お金の計算や管理が苦手で、銀行や役所での手続き等は母に任せていたが、突然母が倒れてしまった。
- ・最近、物忘れが増えてきたので心配だ。
- ・将来自分が認知症になったとき、誰が支えてくれるのが不安だ。

このようなことにお困りの方や、ご家族等で不安を持っている方はお気軽にご相談ください。



※お問い合わせ先・相談窓口
町健康福祉課 地域包括支援センター(担当・浅妻) ☎32-6704

慶弔

4/1~4/30受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
木野 心葵	女	仁彦・美穂	河原市
木野 睦己	男		
今村 悠吾	男	亮太・彩乃	佐田

◎ご結婚

氏名	住所
田辺 昂大 & (伊関) 法子	気山
渡辺 佑 & (高山) 晴菜	松原
岡田 拓也 & (黒澤) 美里	佐田

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
金森 久次	日向	87	金森 伊志子
後藤 なよ子	丹生	92	後藤 歩美
高橋 洋一	南市	49	藤長 よし子
永井 賢一	日向	68	永井 雄
高橋 正浩	早瀬	52	高橋 周子
浅井 愛子	河原市	98	大塩 満
畑中 子ヨ子	竹波	94	畑中 豊
森下 トモ子	日向	80	森下 光宏
長谷川 トヨ子	麻生	82	長谷川 啓
森田 岩太	野口	91	森田 定雄
右近 秀雄	金山	78	右近 早智子
伊達 しげ子	郷市	96	伊達 正子

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

わが家のアイドル



国立 英之さん・めぐみさん(久保)の長男

将弘ちゃん(1歳0ヶ月)

毎日まんまの時間が楽しみなんだ~!
大好きなバナナヨーグルトをお母さんが
出してくれるとテンションがあがるよ☆
いろんな人に逢うのが大好き♡ほく
がニコッてすると、みんなもニコッてし
てくれるのがとっても嬉しいんだ♡
石川のじいちゃん・ばあちゃん、いつも
ありがとう!早く会いたいなあ♡

町人さん

4月1日付けで設立された
美し野区の区長を務める

三島 渉さん(美し野)
(関連第7頁)



*美し野区が設立された今の気持ちを教えてください。
区民の皆さんや何でも相談ができる役員の皆さんに支えられ、無事設立できたと思っています。

*今後の美し野区に一言。
小さい子どもが多いので、子ども達が健やかに育ってくれる地区になってくれると嬉しいです。
また、親の世代も同世代が多いので、仲良く協力し合っ
て暮らしていければと思います。

●応募方法

★印のマスに文字を並べ替えると土地・地区・場所の名称ができます。はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192 美浜町郷市25-25)まで送ってください。

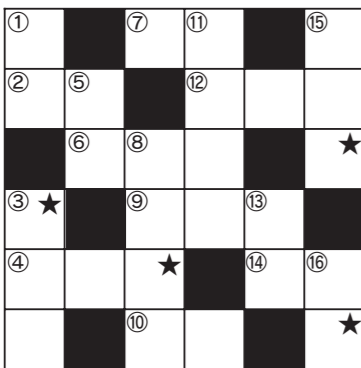
締切りは、6月10日(金)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。
【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【QRコード】



●5月号の答え 五十谷
●応募者総数は14人で全員が正解でした。
当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

みはま・ハートフルクイズ



こたえ ○○○○

一よこカギ

- 家の外と内をつなぐもの。明かり取り。
- からだに着るものの総称。日本の伝統的衣装。
- 福島県西部の地方名。○○若松市。
- 地球の表面積の4分の3を占めるもの。
- 植物等の素材に含まれる酸味等の成分を抽出したもの。
- 左の反対。
- 嬉しいときや悲しいときに流れるもの。
- 一目で見られる範囲。○○が広い。

一たてカギ

- 海に潜って貝類等を採る女性。
- 水上に浮かぶために使用するもの。
- 主に蝶番で開閉する。出入口にあるもの。
- 居酒屋等に行かず、自宅でお酒を飲むこと。
- 旧暦でいう6月のこと。
- マグロやブリ等のネタがのる。回転○○。
- 注文によって料理を作り、届けること。
- 地表の高く盛り上がっているところの総称。

ふるさと昔話 よもやま話 (122)

歴文おもしろ展示品(14)
「炭火アイロン」

広報みはま4月号では、歴史文化館展示室より、足踏み式ミシンを紹介しました。今回は引き続き、家庭の衣料に関わる道具として、展示室で展示している炭火アイロンをご紹介します。

当館所蔵の炭火アイロンは、昭和初期以前に製造されたと考えられ、そのシルエットは現代のアイロンに近い船底型です。しかし、一方で大きな違いとして煙突が付いており、取っ手を除く大部分は鉄製で、ずっしりとした重みがあります。

炭火アイロンは、それ自体の重みに加えて、その名の通り炭火の熱を利用するアイロンです。その内部は、空洞になっており、アイロンの先端にある留め具を外し、蓋である上面を開けて、

内部に炭火を入れる構造で、炭火の燃焼維持や火力調整のために煙突や側面の空気穴が設けられています。

また、当館の炭火アイロンの特徴として、取っ手の下には三日月を見上げる単衣姿の女性と「小町」の文字が表されたレリーフが施されています。調べてみると「小町アイロン」という商品名で、販売されていたようです。

さて、炭火アイロンは電気が今ほど簡単に使えなかった時代の道具ですが、いつ頃から日本で使われるようになったのでしょうか。

日本に初めて炭火アイロンが到来したのは、19世紀半ば、ペリーが来航した幕末の頃とされており、開国以降はミシンと同様に、日本国内での洋装の広まりに伴い、国内で普及したと考えられています。

さらに、炭火アイロンの到来以前の日本にも、熱を利用し衣類のシワを伸ばす道具として、コテや火熨斗がありました。

特に火熨斗は、柄杓のような形で、一見アイロンとは違いますが、炭火を入れ熱した器を衣類に当てる使用方法から、正に日本古来のアイロンともいえる道具です。その歴史は古く平安時代には、火熨斗での「アイロンかけ」が行われていたことが知られています。

火熨斗は、炭火アイロンの普及以降も使われ続けましたが、炭火アイロンは作業の効率性に加えて、炭火を入れる器に覆いが無い火熨斗に比べて、炭火がはじけた際の灰で衣服を傷める危険が少ない点でも重宝されたようです。

時代が進み、昭和初期以降になると、より使いやすい電気アイロンと入れ替わる形で、火熨斗や炭火アイロンは段々と使われなくなり、ともに役目を終えました。

ちなみに、アイロンを英語に直すと「アイロ」であり、元来の材料である鉄が語源となっています。生活の中から炭火アイロンは姿を消しましたが、その面影は今も言葉の中に残っています。

(美浜町歴史文化館)



↑炭火アイロンと火熨斗

文芸欄

俳句

水無月俳句会

新緑を水田に写す山静か

高木 キヨ子(新庄)

湧き水に浸す指先夏兆す

政岡 弘子(久々子)

風光り野に飛び交ひし子等の声

宇都宮 眞理(新庄)

山峡の久しき径よ花菖蒲

山田 世志男(佐柿)

保育所も小学校も花の中

藤本 藤絵(新庄)


舟津宮曙覧の歌碑にさみだるる

楠 充代(佐田)

■くらしのカレンダー■

令和4年6月

1 (水)		17 (金)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園)
2 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	18 (土)	8:00～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん健診・肝炎検査] (美浜東小学校)
3 (金)			13:00～総合健診[生活習慣病健診・肺・大腸・子宮・乳がん健診・肝炎検査] (美浜東小学校)
4 (土)	8:30～町民ゲートボール大会(西郷健康広場)		
5 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)		
6 (月)		19 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)
7 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「心の相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	20 (月)	
8 (水)	10:00～ミニさくらんぼ(けやき台第1集会所) 古紙 (北・南地区)	21 (火)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「心の相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
9 (木)	13:30～育児学級(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	22 (水)	
10 (金)	8:00～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん健診・肝炎検査](総合体育館) 13:00～総合健診[大腸・子宮・乳がん検診] (総合体育館)	23 (木)	10:00～2歳児教室(はあとびあ) 13:00～3歳児健診 (子ども・子育てサポートセンター)
11 (土)		24 (金)	
12 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:00～クリーンアップふくい大作戦in美浜 美しい浜を守るプロジェクトin岩出浜 クリーン・ザ・シーキャンペーン	25 (土)	
13 (月)		26 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)
14 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)	27 (月)	8:00～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん健診・肝炎検査] (はあとびあ) 13:00～総合健診[生活習慣病健診・肺・大腸・子宮・乳がん健診・肝炎検査] (はあとびあ)
15 (水)	9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 古紙 (東地区)	28 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
16 (木)		29 (水)	13:30～離乳食講習会(はあとびあ)
		30 (木)	
6月の納税 [納期限 6/30(木)] ※納付は口座振替が便利です。 町民税 (1期)			

- イベント ● 健康診査・検診 ● 子ども行事
- 行事の予定は、5月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
-  網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- ごみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日～5日、12月31日～1月3日を除く)の午前8時30分～正午です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数	自然動態	- 11
9,053人(- 18)	出生	4人
男 4,447人(- 14)	死亡	15人
女 4,606人(- 4)	社会動態	- 8
	転入	26人
世帯数	転出	34人
3,655世帯(+ 3)	応援人口	215人(+ 10)
	令和4年5月1日現在 ※()は前月比	

こんにちは
まぢづくり推進課です。
今月号では、第34回美浜・五木ひろしふるさとマラソンの様子をご紹介します。
3年ぶりの開催となった今大会は、新型コロナウイルスの感染対策として、県内の参加者に限定して開催され、参加者数は例年の10分の1程度となりました。
スタート前には、会場にいる選手の方々に目標を掲げて写真を撮らせていただきました。ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。
選手の皆さんに話を聞くと、各地のマラソン大会が中止となり、久しぶりの大会出場という方もおられ、走れる喜びがひしひしと伝わってきました。(宥)
▽表紙の写真
第34回美浜・五木ひろしふるさとマラソンの5kmスタート直後です。
3年ぶりに美浜に響き渡った号砲とともに、ランナーたちはゴールを目指し、笑顔でスタートしていました。